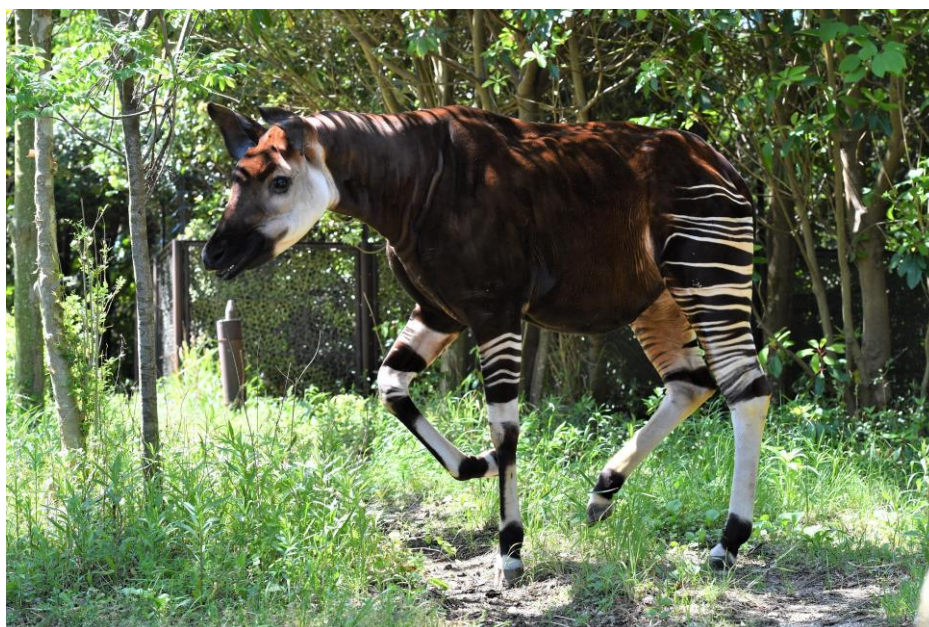


オカピの「ピッピ」が死亡しました



元気な頃の「ピッピ」

よこはま動物園で飼育していたオカピの「ピッピ」が死亡しましたので、お知らせします。

○オカピ「ピッピ」

- (1) 性 別 メス
- (2) 出 生 日 平成 12 年 11 月 21 日 (19 歳)
- (3) 死 亡 日 時 令和 2 年 3 月 12 日 (木) 15 時半死亡確認
- (4) 死 因 慢性的な腎障害の疑い
- (5) 経 過 令和 2 年 2 月 22 日の朝、起立しようとして転倒することを繰り返し、そのまま起立が困難な状況となりました。その後徐々に元気がなくなり、3 月 12 日の午後死亡を確認しました。

● ピッピのプロフィール

平成 9 年に日本に初めてやってきたオカピのペアから国内初の繁殖で誕生した個体です。来園者からの愛称投票で「ピッピ」と命名されました。「飼育員のとおきタイム」では長い舌を出して、木の葉を食べる姿が来園者に人気でした。平成 15 年にアメリカから来園したオスの「ホダリー」との繁殖に成功し、平成 18 年と平成 26 年に出産しました。飼育担当者はもちろん来園者にも人見知りをしない個体で、バックヤードツアーでは、来園者から大好きなビワの葉をもらって食べる姿が印象的でした。献花台の設置については、ホームページでお知らせします。



指定管理者：(公財) 横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 渡辺 武志 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■オカピについて

和名	オカピ
英名	Okapi
学名	<i>Okapia johnstoni</i>
分類	鯨偶蹄目 キリン科
分布	コンゴ民主共和国東部
生態	1901年にイギリスの探検家ハリー・ジョンストン卿によって発見されました。外見からシマウマの混雑種に間違われることが多いですが、キリン科に属する原種の動物です。熱帯雨林で生息しており、長い舌で木の葉をたぐり寄せて食べます。雌のほうが雄よりもやや体が大きく、雄には皮膚で覆われた2本の短い角があります。本種は、1999年に当園が日本で初めて公開しました。
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 I B 類 (EN) : 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
当園飼育頭数	3頭 (オス1頭、メス2頭) ※令和2年3月現在 ※今回死亡した個体は含まず
国内飼育頭数	3園館6頭 (オス4頭、メス2頭) ※令和2年3月現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）

よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円

◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）

◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）※3月31日まで臨時休園

◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約15分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間

◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>

◆住所：横浜市旭区上白根町1175-1

◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアは、2019年4月24日に開園20周年を迎えました。